

先生方お元気でしょうか？

■■■の復学支援の際には大変にお世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。

最近のネット、世の中は不登校の子供に対して無理に登校をすすめず、本人の気持ちを尊重し本人が行くというまで待ちましょう、心のエネルギーは空っぽです、満タンになれば子供は自ら動き出しますという風潮となっていると感じます。

不登校という、思ってもいなかった状況に子供が陥った時、御多分に漏れず私たちもネットサーフィンを繰り返して、どうやら無理な登校はすすめてはいけないらしい、待つしかないらしいという方針に決まりました。

学校へもその旨を伝えました。担任の先生はその提案には反対のようでした。登校させてほしい、何なら迎えに行きますというありがたい申し出も、その当時には迷惑にしか感じませんでした。仲良くしていた友達が何度もプリントをもって家にも来てくれていましたが、本人はそれさえもめんどくさそうになり始めました。

どんどん孤立して青白い顔になり、表情も乏しくなる子供を目の前にして、このまま待っていて本当に元に戻るのだろうかと思い始めていました。エネルギーをためているはずが反対にどんどん弱り苦しそうになっていくのです。親としても苦しい気持ちを抑えこみ、ひたすら本人を否定せず登校を促さず待ちました。本人は更に表情がなくなり兄もシャットアウト。今まで行くことができていた習い事にも行けなくなり、ひたすら引きこもり、無気力になっていく子供。

その頃、習い事の先生から LINE をもらいました。「もしかしたら■■■くん、学校へ行けなくなっていないですか？もしそうだとしたら早く戻さないと戻れなくなりますよ。うちの息子も不登校でしたから」と。

こんな身近に相談できる人がいた！！私たちは習い事の先生に相談し、とにかく学校と協力して登校を促すよう担任や学年主任の先生と話し合いました。先生たちも本当に親身になり協力してくれました。本人も学校に行って部活をやりたいという気持ちがあるようでしたが、動き出すことができませんでした。先生方が毎週自宅にきてくれてお話をしてくださっても無理でした。

私たち家族は途方にくれました。どうしたら良いの？待つてなんかいたらやりたかった部活も行きたかった高校へも行けないじゃないか！！あんなに学校で生き生きとして活躍していた子供がその場所へ戻ることも戻すこともできないなんて。私たちはネットの中を探りました。そしてこのペアレンツキャンプに出会ったのでした。不登校になって6ヵ月でした。

お恥ずかしながら半信半疑で、本当に子どもは元の中学に戻れるのですか？という気持ちでしたが、友達もいて先生方もいて部活の仲間が待つあの楽しかった中学へ返したい！！その一心でした。

辻先生との話し合いのあと私たち家族は希望でいっぱいでした。戻せる！！そう思えたの

です。辻先生の態度や話し方は自信にあふれ、誠実そのもので信用に値するお人柄だったので。

辻先生にすべてを任せ、ご指導を賜りました。

そして気づいたのは親が本人のため良かれと思い行動していたことのすべてが、本人の成長を無理やりに止めてしまう行動であったことでした。この行動は子供本人の心を傷つけ自信を無くさせていったのでした。あんなに明るく無邪気で明るかった子供を傲慢にも踏みつけ傷つけていたのです。

反省と自責の念で苦しい日もありました。しかしそんなことを振り返っている暇はありません。前に向かって進むだけです。そしていよいよアタックの日、佐藤先生、辻先生、高田先生、坂本先生の4人の先生方が [ ] をついに動かしてくださったのです。

12月11日この日は [ ] が決めた登校の日でした。この日までにカウンセラーの高田先生、坂本先生、田中先生が代わる代わる何度も家に来てくださり登校に向けて準備をしてくださいました。私たちと一緒に学校に説明に行ってくださいとどんなに心強かったことでしょう。学校の先生方も真剣に話を聞いてくださり [ ] が戻れるなら何でもしますと言ってくれました。

登校の日までは親子とも苦しいことや悩むこともありましたが、しかしその日はやってきました。いよいよ高田先生と坂本先生と一緒に制服を着てリュックを背負い、行ってきますと玄関を出る姿にこれが現実なのか夢なのかという気持ちでした。

不登校であった中2の1年間分の遅れた勉強を取り戻すために必死の努力をし、部活動へも最後まで参加して大会にも出場しました。中3時代を苦しくも生き生きと過ごし、最終的には希望していた公立高校へ合格することができました。4月からは高校生となり水泳部に入り真っ黒に日に焼けて登校する姿に、あの時の周りの皆さんの協力とペアレンツキャンプの先生方のご指導に本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

私たち家族はペアレンツキャンプでの学びを生かし、これからも [ ] を支え、自立した大人になるまで共に成長していくつもりでいます。

先生方、いつまでもお元気でご活躍をお祈りしています。

令和4年8月7日

[ ]  
[ ]  
[ ]